

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年 5月23日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670500166号
法人名	医療法人 杏林会
事業所名	グループホーム あんずの家
所在地	鹿児島県いちき串木野市桜町39-1 (電話) 0996-32-8111
自己評価作成日	平成23年3月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年3月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

市内のほぼ中心部の住宅地に立地しており、周辺の人々の動きや近くの公園で遊んでいる子供たちの声が聞こえてきたりと、日常のいろいろな音、におい、動きを直に感じることができ、良い刺激を受けている。住宅地ということもあり、景観も落ち着いた雰囲気、周りにとけこんでいる。春になれば、入り口に植えてあるあんずがきれいな花を咲かせ、また季節ごとに花を植え替え、季節の移り変わりを肌で感じることができるようにしている。グループホームは、昔では普通であった多世代家族のようなもので、職員は30代～60代まで、お年寄りも70代～90代までおられ、職員利用者の垣根を超え、それぞれが、それぞれの関係を構築しており、楽しくもあり、何か懐かしい空気が流れているようでもある。その雰囲気や空気が、安心につながるように、努力している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市中心部の住宅地に、近隣の暮らしぶりや生活音にふれる機会が多い中に立地しているホームである。職員の話し合う場を多く設けて、本人の生活歴を活かしたケアとその人らしい普通の生活のできる支援に努めている。日常的に利用者の感謝の声も聞かれ、職員により良いケアの実践につるながっている。利用者の穏やかな笑顔と生活ぶりに家族からの評価も高い。職員、利用者ともに地元の出身者が多く、行事などを通じてなじみの関係があり、大家族を思わせる雰囲気の中で、地域住民の一人としてあたり前の暮らしが保たれている。

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の基本理念を職員間で共有し日々のケアに取り組んでいる。	法人の基本理念をもとに地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成している。朝礼時に確認し合い、理念を職員の指針として日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敬老会・クリスマス会・夏祭り等の行事には、近所の方や、運営推進会議でお世話になっている公民館役員を招待している。また、近所の農家の方より野菜をいただいたり、花をいただいたりし、花がきれいに咲いたときは、広報誌に載せている。	自治会に加入しており、また回覧板やホーム便り（地域向け、家族向け）の配布時に地域の情報収集をしている。地域行事の夏祭り、敬老会、資源ゴミ回収に参加したり、介護や認知症についてなどの公開講座や小、中学生の体験学習、子供達のボランティア（歌、楽器演奏）訪問など交流と地域貢献に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域向けのおんず便りを発行し、施設の取り組みや、認知症に関することを、発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価結果に基づき運営推進会議で報告し、アドバイスをいただいている。	行政、住民代表、家族などの参加を得て定期的開催されている。避難場所の明確化の提案や緊急連絡体制に事業所を町内代表に組み入れてもらう事など会議を通じて地域との連携が図られている。	

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	密に連携をとることはないが、必要時は、相談させてもらい、その都度丁寧にわかりやすいアドバイスをいただいている。	ホームの運営やサービスのあり方、制度の詳細、しくみなどを相談しながら、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	昼間は、玄関やその他出入口の施錠はしていない。外出傾向のある方への目配りや気配りも心がけ、閉塞感のない生活を送っていただけるように気を付けている。	スタッフ会議や勉強会時に確認し合っている。居室、玄関に施錠はなく見守りに徹底し、本人ペースの支援に努め、拘束のない自由な暮らしが保たれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に努めているが、さらに、高齢者虐待防止法について学ぶ機会を作り、徹底していきたい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在利用されている方がおられず、権利擁護に関する制度についての知識は浅い。		

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項説明書に沿って、時間をかけ説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時などに利用者の状態報告を行う際、ご家族の意見や要望などをうかがい、スタッフ会議等で検討している。	嗜好や行きたい場所などを利用者に関いかけたり、会話の中から察するようにしている。家族からは訪問時、電話、メール、月次報告時に意見や要望の収集に努め、利用者、家族などの立場に立った運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	気軽に相談ができる関係づくりに努めていると思う。	管理者は常に職員と話し合う場（朝礼時、勉強会、ケア時）を設けて意見やアイデアを大切にしており、プラン作成、受け入れ、ケア時の提案など運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者より代表者へ、個々の勤務状況等報告し、把握してもらっている。		

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の内容によって適したスタッフを研修に参加できるように心がけているが、人員不足や、研修の機会があまり多くなく、日々の仕事の中での教育にとどまってしまっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会に市内のグループホームに参加の声掛けをしたり、他の施設を見学させてもらい、情報の交換をしている。</p>		

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所される前にご本人やご家族または、身近な介護者と面接を行い生活歴や要望思いなどを把握し、入居後安心した生活が送れるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居される際にご家族の要望や不安にしっかり耳を傾け、信頼していただけるような関係づくりを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談を行いご本人やご家族の要望を確認し、ご本人にとって一番幸せなサービスが提供できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者1人ひとりが、その人らしい暮らしが続けられるようにお互いに支えあいながら信頼関係を築いている。		

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人にとってかけがえのない存在として本人を支える大切なパートナーとして、協力をいただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	グループホームに入っても今までの馴染みの人や場所、習慣等を大切に、希望に添えるようにしている。	友人、知人、身内の面会を頻繁に行えるよう支援し、自宅訪問や墓まいり、なじみの美容室へ出かけるなど関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルを囲みソファに座りお茶を飲んだり会話したりみなさん楽しそうである。自然と関係が出来上がっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も相談に対応し、可能な限りフォローできる体制を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御家族の意向をうかがったり、ご本人の生活の中での言動や表情を見逃さず思いを把握できるように努めている。	利用者と楽しく会話できる環境づくりに努め、表情や言動から心身の状況を把握するように努め、家族よりの聞き取りや職員との情報交換を密にしながら一人ひとりの思いや意見を本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の暮らし等については、ご家族や担当ケアマネ、介護者等から情報をいただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ともに生活する中で、できないことを見極め、その人らしく暮らしていけるように支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御家族やご本人の意向を踏まえ、スタッフが記録している日々の生活記録を基にカンファレンスを行い計画を作成している。	個別記録に気づきや工夫点、改善点なども書き入れ、職員で共有し、ケース会議や担当者会議を行い、本人や家族の意向、関係者の意見を反映した本人本位の介護計画を作成している。	



鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>生活記録に日々の様子を記録、月に一度モニタリングを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時の状況に応じたサービスが対応できるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>施設内の生活にとどまっていることもあり、地域資源の活用とまでは出来ていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医との連携に気を付けている。</p>	<p>本人や家族などの希望しているかかりつけ医の受診応診の継続と、かかりつけ病院の看護師と連携がとれており、適切な支援が行われている。</p>	

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	スタッフに看護師がいないため、かかりつけの病院看護師と連携を密にし適切な医療、看護が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力病院やかかりつけ病院との関係づくりを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご家族と時間をかけじっくり話をし、かかりつけ医や、同法人内の施設等も含め相談をしている。	重度化や終末期について、本人、家族、医師、職員、看護師との連携を取りながら事業所のできる支援を統一している。方針の明文化の作成は現在取り組み中である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の訓練は出来ていないが、緊急対応マニュアルを作成し、対応できるように確認をしている。		

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアル作成している。消防訓練を定期的に行い地域の協力体制を現在作成中である。	災害訓練や避難訓練（昼、夜間想定）を消防署協力のもと定期的に行っている。火災探知機、通報探知、避難場所の特定、食料の備蓄もあり、地域との協力体制を築きながら災害対策に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. そのひとらしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライドや人格を損ねない言葉かけや対応を行い生活の中で、傾聴に心掛けている。	管理者・職員とケア時やミーティング時に、尊厳に対するケアのあり方を話し合い意識づけしている。職員採用時の誓約書や個々のプライバシーに関する取り扱いや管理など指導体制もできている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	無理強いせずにご本人が答えを出せるようなかかわりを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフは、一人ひとりの生活リズムに合わせ、自己決定できるような雰囲気づくりをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行きつけの美容室へ行かれる方や、ビューティーヘルパーをお願いしたりと、その人の好きな髪型をし、服も更衣時選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の手伝いや配膳下膳ができる方にはできるだけお手伝いをもらっている。なるべく献立の希望を聞いている。	利用者の身体状況に合わせた食事形態、本人の生活リズム（食事時間、嗜好）に配慮した食事作りを、手伝いをもらいながら、職員と一緒に楽しんでいる。	

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ミキサー食、刻み食、減塩食など個々にあった形態の食事を提供。また嗜好を考慮し場合によっては、代替品で対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声掛けや支援をしている。磨き残しや、義歯等の装着確認を含め口腔内の状態を確認している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の状態に合わせたパンツやパットを使用しなるべくトイレでの排泄ができるように排泄のパターンを知りトイレへの案内等の支援をしている。	排泄チェック表をもとにパターンを把握し、職員間の連携を密にしながら、見守る中で行動やサインによる察知に努め、トイレ誘動に心がけている。布パンやパット使用の利用者が多く、自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を十分に行い排泄時や入浴時に腹部マッサージ、体操や散歩など体をなるべく動かしてもらおうように心がけている。		

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に1日おきの入浴となっているが、希望があれば毎日入浴される方もおられる。	基本的に入浴日は決められているが、本人の希望や身体状況に合わせた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜遅くまでテレビを見ておられる方や、早く寝る方さまざまである。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	出来ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干しや皿拭き、掃除などお手伝いしてくださってます。ドライブや外食、買い物など気晴らしになるような支援も行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブや買い物その他希望があれば、ご家族の協力もいただきながら、出かけられるように支援している。	散歩や買物、ドライブ、外食や友人、自宅訪問、墓まいり、花見、市の行事参加、初詣など外出の機会づくりを工夫し、閉じこもらない支援に努めている。	

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>普段は、事業所の金庫に預けられる方がほとんどである。買い物など外に出かけるときに財布を渡し、買い物が楽しめる支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも電話でやり取りが出来る環境を作っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節によって、すだれを使い西日を避けたり、火鉢に火を入れ、暖かな雰囲気を作り出す工夫をしている。</p>	<p>リビング部分は天井も高く、採光、換気、音、温、湿度に配慮され清潔である。随所にソファや椅子もおかれ、足揉み器、TV鑑賞用椅子もある。壁には季節行事の写真や花、工作装飾品が掲示されて、家庭的で利用者になじみの空間作りとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>みなさんソファで過ごされることが多く関係ができています。また各々のその時々で違う場所で、一人になったり、利用者同士でお話をしたりしている。</p>		

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室はすべて畳を使用しタンスなど自宅で使っていたものを持ち込まれている。	テレビ、冷蔵庫、位ハイ、姿見、化粧台、テーブル、椅子、タンス、などなじみの物が持ち込まれている。居室入口には職員手作りの、のれんや似顔絵の表示が工夫されており、それぞれ個別的な居室づくりとなっている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	建物内は、見渡しがよく広い作りになっている。行きたいところに自ら行くことも容易である。		



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームあんずの家 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない